

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスさいころ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月		～ 令和8年2月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56名	(回答者数) 42名
○従業者評価実施期間	令和8年1月		～ 令和8年2月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者それぞれに合わせた、オリジナル教材を使用している療育。保護者のご要望も含め、お子さまに合わせて、毎回違う内容の支援内容で療育ができる。	毎回の利用時に活動の目標(ねらい)を設定し、お子様ひとりひとりの成長や興味に合わせて、内容を工夫して準備しています。また、その日の体調や気持ちに合わせて、臨機応変に対応するようにしています。	スタッフによって得意な分野や力量(知識や経験)の差があるので、質の均一化を目指すため、スタッフの勉強会の実施や、日々細かい情報共有を促すよう促し、取り組んでいます。
2	保護者様と毎回顔を合わせ、当日の様子や家庭での様子などをお話する時間があり、家庭や学校などでの様子を共有でき、支援内容に活かすことができる。	保護者の要望や、困り感に合わせて目標を設定し、本人と保護者に達成感を味わってもらえるような療育を心がけています。	今後も利用児、保護者の皆様に信頼と安心感をもって利用していただけるように、一人ひとりを大切にしたい支援に努めて参ります。
3	小学生から高校生まで利用可能としているので、継続した支援ができ、移行期にもしっかり対応できる。	進学や進級に向けての取組みや引き継ぎだけでなく、学校行事等に向け利用児同士で先輩インタビューなどを行い、体験談を共有する機会を設けたりしています。	必要に応じて進学や進級前だけでなく、進学後も保護者や先生と細かく引き継ぎや情報共有などを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ありがたいことに、ご利用希望者の方が多いが、お受けできる人数も限られており、支援が必要と思われるお子様達全員にご利用いただけないこと。	従来より利用希望の方全員をお受けできてはなかったが、通級指導教室との併用が可能となったため、療育の利用を希望する方が増え、よりお受けすることが難しくなった。	支援を希望する方に必要な支援が届くよう、行政や相談支援機関と連携していきたい。
2	上記の現状をご存じで体調不良などで休みがちな利用児の保護者様が、休みの連絡をされる際かなり恐縮されている様子があること。	安否確認や欠席対応の関連から連絡は欠かせないが、それが保護者の負担になっている。また、一部福祉窓口担当者や相談担当者から、利用が安定しない方や長年利用している方に“肩たたき”的な終了促しの声掛けがあること。	支援を希望する方に必要な支援が届くよう、行政や相談支援機関と連携していきたい。
3	現在は女性スタッフは多く在籍していますが、男性スタッフが少ないこと。	男性スタッフの求人の応募が少ないこと。報酬単価も決まっており限られているので、スタッフを雇うための費用の捻出が難しいこと。	支援の充実を図るため、男性スタッフの雇用を獲得していけるよう努めます。